



笑顔

発行日：2010年1月1日
発行所：赤門グループホーム 神明町ガーデン
〒294-0045 館山市北条 1173-6
☎0470-24-5075 Vol.4

神明町ガーデンの理念

入所者様のペースに合わせてその人らしく生活できるグループホーム

謹賀新年

管理者 原田



明けましておめでとうございます。

入居者の皆様には、体調を崩されることもなく新年を迎えることができました。この1年を元気で過ごせるように今年も初詣に鴨川市の誕生時までドライブを兼ね行きます。

ホームでは行事を通し入居者様に季節を感じていただけるように初詣、ひな祭り、お花見、盆踊りなど様々な計画を立て御案内しております。

入居者様にとって楽しみである食事に留意し心身共に満足していただけるように努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



ご家族 藤中 節子様

神明町にお世話になって

2003年初春に実母が神明町ガーデンにお世話になってから早7年経ってしまいました。当時、あの聡明な母が何故？と当惑し今後の事を考えると私の心は押し潰されそうでした。

温かく母を迎え入れてくださった、宮川先生と田中先生、そしていつまでも変わらずに愛情を注いでくださるスタッフの方々には感謝の気持ちで一杯です。7年間には父の死、大腸癌の手術、白内障の手術など辛く悲しい事、また嬉しい事も多々ありましたが、全て忘れて今この一時が幸せであれば母は最上の笑顔をしてくれます。

高齢化社会の日本は今後、独居老人が益々増える現状の中で、いつも「豊さん」と声をかけて下さり、毎食今まで自分が作ってきた様な食事を頂けることは、様々な介護施設の中でグループホームの存在は必要だと思っております。

「此処は、楽しいのよ。目黒の家も気になるけれど一人だと怖いしね。」と7年前には考えられない様なとびきりの幸せそうな笑顔に向けて「さよなら、また会いに来てね。」と手を振る母に、スタッフの皆様の愛情に感謝しながら、安堵の気持ちを味わい、また暇を作らねばと思ひ帰路につくのです。

スタッフ 田代 光平

入社してから1年が経とうとしています。これからも笑顔で皆様と1年2年と過ごして行きたいと思っております。よろしくお願い致します。(^_^)v

箸置き作り

11月19日スウェーデンより講師を招き、終日生活を共にしました。日本の文化を感じていただきたく、いつも使っている箸置きを牛乳パックと千代紙で作成しました。

仕上げはニス重ね塗りをして、丈夫で素敵な箸置きが完成しました。

当日の昼食に使いお土産としてプレゼントしました。



もみじ狩り



素晴らしい紅葉でした

地区の運動会



みんなで頑張りました

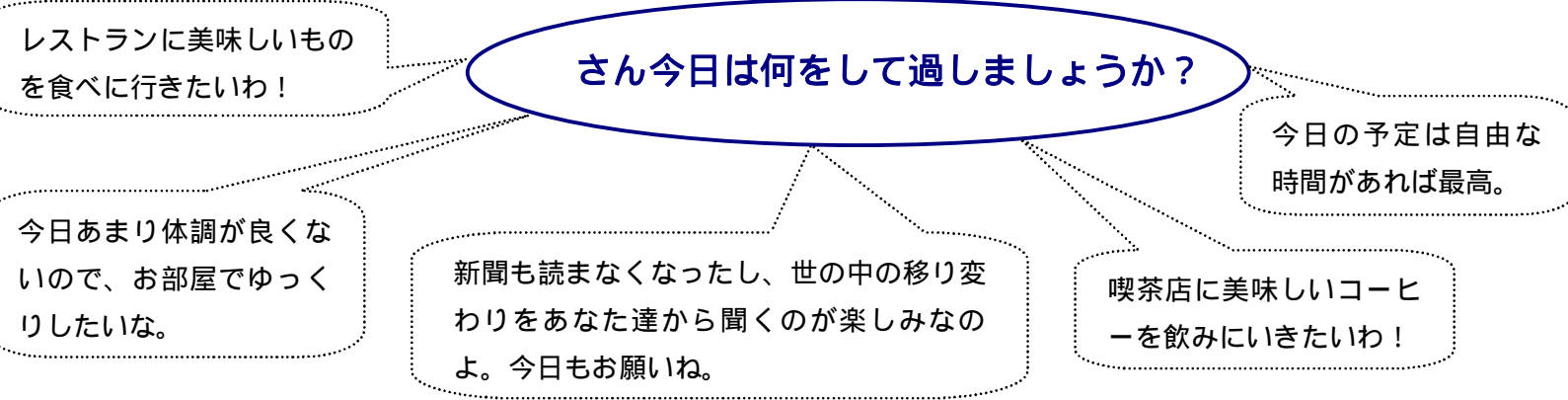
おせち作り



年末は忙しい忙しい！
美味しいおせちの出来上がり

ある日のお茶の時間

〈入居者様インタビュー〉 その2



私たち職員は、出勤前に新聞やテレビのニュースに耳を傾けて、今日は何のニュースを皆様に伝えようかとそれぞれ持ち寄り、お話しをさせていただいております。(^_^) ... 次号へつづく